

東アジアのマルチ・クロス・ポート ～価値を生む博多港～

Multioptional Cross Port in East Asia ~Hakata Port with Added Value~

博多港では、人、物、文化・情報の交流結節拠点であり、地理的・経済的ポテンシャルや特色ある独自の輸送サービスを生かし、物流の効率化や高付加価値化を進めます。これにより、日本各地と東アジア、世界を結ぶ「博多港マルチ・クロス・サービス」の構築を進め、物流機能の面から国際競争力を強化し、【東アジアのマルチ・クロス・ポート～価値を生む博多港～】の実現を目指します。

※多様に選択可能で、結節している「マルチ・クロス」な例

博多港の物流における活用方法はマルチ(多様)に選択可能で、そのネットワークがクロス(結節)することにより、利用者にとって高い付加価値を生み出す港を目指しています。

- 輸送範囲：世界各地との国際物流～東アジアとの準国内物流～日本国内の物流
- 輸送モード：フェリー・RORO船を含む東アジア近海航路及び欧米基幹航路と日本国内の海陸空鉄道輸送
- 輸送機器：12ft～45ftのコンテナ輸送とコンテナ以外での輸送

【博多港 マルチ・クロス・サービス】のイメージ

『Hakata Port Multioptional Cross Service』※image

アイランドシティ(高速RORO船)



博多港 マルチ・クロス・サービス

Hakata Port Multioptional Cross Service

- 博多港を結節点に上海、釜山等との国際海上貨物を運ぶ高速RORO輸送と国内の多様な輸送モード(高速RORO船、鉄道、航空機、陸上トラック)との連携による国際複合一貫輸送ネットワークを活用した「博多港・クロス・サービス」を実施しています。
- この特色あるサービスをさらに充実・強化し、博多港を拠点とした「高速・定時性」「小口・多頻度」「低コスト」「高付加価値」な国際複合一貫物流により、日本各地と東アジア、世界を結ぶ「博多港マルチ・クロス・サービス」の構築を進めています。